葦毛通信（いもう）

コオニユリ

２０２２年９月２２日
豊橋市文化財センター
豊橋市松葉町３丁目１
TEL：0532-56-6060
No. １２９

1、コオニユリの人工授粉

１）葦毛湿原のコオニユリ

コオニユリはユリ科ユリ属の多年草で、東アジアに分布し、日本では北海道から九州の山地の草原や低地の湿地に自生しています。オニユリは葉の根元にむかご（珠芽）が付きますが、コオニユリはむかごが付かず、種子ができます。種子から発芽した個体（実生）は花が咲くまでに５～８年ほどかかると言われています。

葦毛湿原のコオニユリは絶滅危惧種ではありませんが、1990 年代を最後に地上絶滅して葦毛湿原では見られなくなっていました。2013 年１月から開始した大規模植生回復作業により、2017 年に埋土種子から復活して花を咲かせました。しかし、その数は少なく増えませんでした。2020 年に調査すると花は咲いても種子ができていないことが分かり、2021 年から人工授粉を始めました。コオニユリは葦毛湿原では、およそ 20 年ぶりにやっと復活した絶滅寸前の希少な植物です。

コオニユリ人工授粉一覧表

番号	地点	開花数	結実数
1	L地点	1	0
2	L地点	9	8
3	L地点	1	1
4	F地点	6	6
5	F地点	5	5
6	F地点	1	0
7	Y地点	3	2
8	Y地点	1	1
9	Y地点	0	0
10	O地点	1	1
11	M地点	1	0
12	M地点	1	0
合計		30	24

２）コオニユリの人工授粉

コオニユリの人工授粉は、2021 年度は２回しか行えず、結実したのは３花だけでした（葦毛通信 No, 115 参照）。しかし、人工授粉すれば結実することが確認できたので、今年度は 7 月 25 日から 8 月 16 日までに 12 回人工授粉を行いました。

2020 年の結実調査で、開花しても結実しないのは自家受粉では結実しないためと考えられたので、今年度の人工授粉も

Ｌ地点－２開花状況（2022 年 8 月 3 日）

人工授粉後（2022 年 7 月 31 日）

綿棒を使い、他の個体の花粉を受粉させました。使用した綿棒はコオニユリ専用で１本だけです。受粉期間中、同じ綿棒で受粉作業を行いました。前頁右写真は人工授粉後で、めしべの先端に花粉がついていることが確認できます。

コオニユリの最初の開花は１花のみで、２年目に３～５花程度、３年目に９花が確認できています。最も開花数が多いのはＬ地点の２の開花後３年目の個体で、１年目と２年目の茎が枯れたまま根元で残っており、徐々に太くなり、草高も 180 ㎝程度で高くなることが確認できています。Ｌ地点の２の個体は９花が開花しました。前頁左の写真では、下の２花の開花が終わった状態、その上の３花が開花し、その上の４花がツボミの状態です。

右写真はＦ地点の４～６の３個体の写真で、左から４（６花）→５（５花）→６（１花）で、４と５が開花して２年目、６が１年目の個体です。

コオニユリの花は下向きに咲きますが、結実すると上向きになり膨らんできます（左写真）。

Ｙ地点－７結実状態

Ｆ地点 4～6 開花状況（2022 年 8 月 2 日）

開花した花は総数 30 花ですべてに人工授粉を行いましたが、最初に開花した花や開花の確認が遅れた花は受粉がうまくいかず結実しませんでした。それでも、結実したのは開花した 30 花中、24 花で、全体の 80%が結実しました。

コオニユリは実生から開花までは数年かかるようです。葦毛湿原では 1990 年代に地上絶滅し、2017 年に復活して開花が確認できましたが、埋土種子からの復活であれば、2013 年から大規模植生回復作業を開始しているので、作業後４～５年で開花したと推定できます。コオニユリの復活は長い時間がかかりましたが、今年度は 12 株に増え、これから順調に増えていくものと期待していました。

2、コオニユリが盗掘されました！

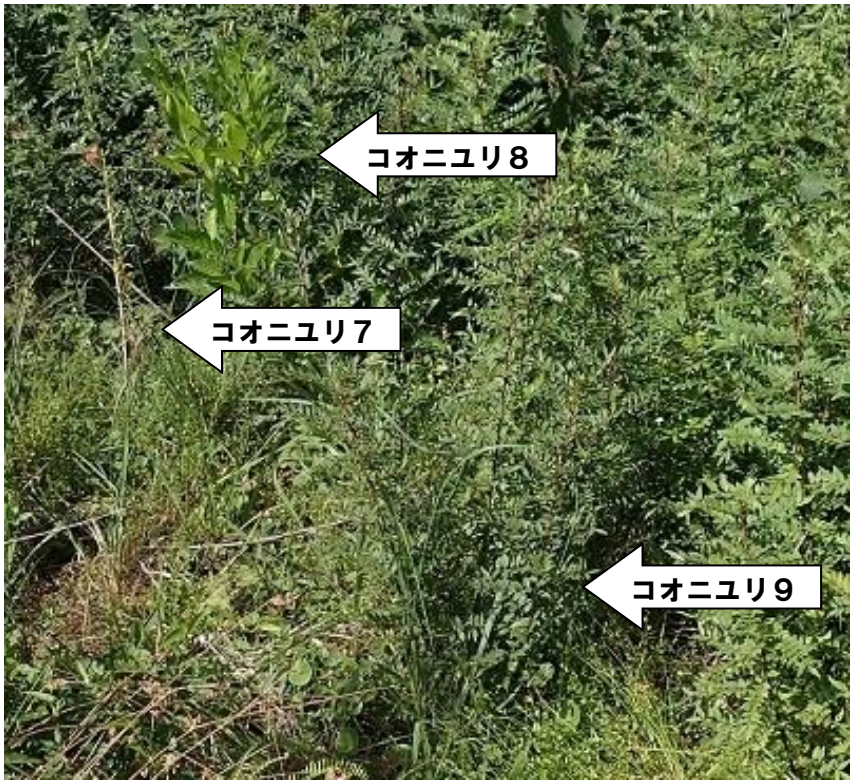
盗掘があったのは葦毛湿原のＹ地点で、３株のコオニユリ（７～９）が確認されていました。そのうちの２株が盗掘され、１株だけが残っている状態です。残っていたのは７で３花中２花が結実した個体です。この７は風で倒れてしまったので、支えを作って結実が進むようにしていた個体です。これ以外の２個体は８と９で、８は１花が開花・結実して種子ができていく途中でした。９は発芽しても開花しなかった個体です。

盗掘されたところは木道から 30m ほど湿地内部に入ったところで、２か所穴があけられ

ていました。また、花が落ちて目立たなくなってから盗掘しており、あらかじめ下見して位置を確認して目立たない時期を選んで盗掘を行っていると思われます。

８月 11 日にはすでに開花は終了しており、また花が咲かなかった株も含め２株を掘り取っているところから、花が目的ではなく、球根を目的に掘り取ったものと思われます。

今回の件は、明らかに文化財保護法違反の事例で、８月 26 日に豊橋警察署に被害届を提出しました（犯罪事件受理番号：Ｒ４年１３９３号）。



Ｙ地点のコオニユリ・盗掘前の状態（８月 11 日）

盗掘前の状態：コオニユリ７・８・９（2022 年 8 月 11 日）

撮るのは写真だけ、持ち帰るのは思い出だけ、希少な生物が絶滅せず、次の世代も見ることができるよう大切に見守ってほしいものです。

SDGs 未来都市
豊橋市

15 陸の豊かさも守ろう

盗掘後の状態（８月 25 日）

盗掘後の状態（８月 25 日）